「スポーツの尊厳」



（財）日本ハンドボール協会副会長　市原 則之

1994年の広島アジア大会の頃から「中東の笛」を感じ始めた。「中東の笛」とはレフェリング技術の低いミスジャッジではなく、高度な技術で巧妙かつ大胆に中東諸国寄りの笛を吹く意図的なジャッジである。

この「中東の笛」によって長きに渡り多くの日本代表選手がオリンピックや世界選手権への道を断たれてきた。日本協会役員また、元代表監督として、慙愧に堪えず、色々な機会にアジア連盟の役員や国際連盟の役員に訴えてきた。中でも2002年11月ロシア（サンクトペテルブルグ）のIHF総会で栗山雅倫氏（東海大学）と共にアジアハンドボールの正常化について緊急動議を出し、万雷の拍手を得、二人で手を取りあって感激に浸ったことは今でも忘れられない。あれから5年、先の豊田市での北京オリンピックアジア予選会で余りにも酷い「中東の笛」に日韓両国が連携し立ち上がり、やっと選手たちにフェアプレイを取り戻すきっかけができたことは感無量である。スポーツにフェアプレイがなければ与太者同士の喧嘩と一緒である。「フェアプレイ」こそ、我々スポーツ人が死守しなければならない「不易」の掟である。つまり「フェアプレイ」は「スポーツの尊厳」そのものである。

オリンピックの父クーベルタン男爵はオリンピックムーブメントを提唱した。スポーツを通じて世界の友好と親善を推進し、世界平和に寄与しようという主旨である。ここからスポーツに崇高な理念が定着した。

私は、スポーツを行うことで、心身に素晴らしい3つの要素が醸成されると考えている。それは「ファイティングスピリッツ」と「フェアプレイ」と「フレンドシップ」である。

どんな相手にも怯まず、慢心せず、積極果敢に挑戦するファイティングスピリッツ。どんな状況にも挫けず常に公平で正大な心を持つフェアプレイ。戦いのあとに勝者を称え敗者に心を寄せるフレンドシップ。まさしくこれこそ「スポーツの尊厳」である。

当稿が発行される頃にはIHFの公平な運営の下、北京のアジア予選再戦も無事終り、勝者をアジアの代表として心から祝福して北京に送り出していることであろう。

ハンドボール界が一丸となった支援体制と、大きな世論を背景に、男女代表チームは思う存分に戦い、永年の夢を実現してくれることを期待している。

2008 北京オリンピックアジア予選（再試合）

男女とも韓国に敗れる

北京五輪出場権はIHF世界最終予選（女子：3月末、男子：5月末）へ持ち越し！



やり直しとなった、北京オリンピックアジア予選（再試合）は男女共、日本・韓国の2ヶ国が出場し、女子は1月29日、国立代々木体育館で行われ、韓国に21対34で敗れた。又、男子は1月30日、同じ会場で1万人を越す観衆のなか行われたが、韓国に25対28で敗れた。この結果、この大会での五輪出場権獲得（女子は1976年モントリオール五輪以来32年ぶり、男子は1988年ソウル五輪以来20年ぶり）はならなかった。

女子日本代表総監督　西窪 勝広

IHFの管理下で行われた再試合に総監督の立場で臨み、オリンピックの切符を獲得できなかったことに責任を痛感している。

最高の舞台を整えてもらいマスコミにも連日取り上げられ、選手のモチベーションが高まるのが本来の姿である。

しかし、雰囲気にのまれたとの声があったが本当にそうであったのだろうか。

雰囲気に飲まれる前に、選手個々が自信を持って大会に臨む練習内容であったのか。

「体力、技術で劣る分、組織で戦う」とのベルト監督の意図があったが、その裏づけとなる練習内容が組まれてきたのか。「体力、技術」が劣っていることが把握できていたのであれば、選手にどれだけのノルマを与え強化してきたのか。

女子強化部長、総監督として統括する私の役割がチームに浸透させられたのか、私自身の力不足を感じると同時に深く反省している。

確かに開始前から会場は異常な興奮状態ではあったが、確固たる練習内容で臨んできたのであれば逆に自信となり、臨戦態勢で臨む緊張感も無かったと思う。

「負けにも色々な負け方がある」本当に観戦された方々が納得した内容であったか、関係各位、ファンの方々に申し訳なく感じている。

3月の最終予選に臨むにあたり私自身も現場に入り込み、ヨーロッパの戦術に練習の厳しさ、泥臭さ、ボールに対する執念等を注入することが最大の役割と痛感している。

今大会の反省課題を徹底的に分析し、そして明確にして、北京オリンピック世界最終予選に危機感を持って臨みます。

終わりになりましたが、数多くのご支援を頂きました所属チーム並びに関係各位に心からお礼申し上げます。

男子日本代表総監督　蒲生 晴明

1万人の観客の前で闘えることは大変幸せなことで、酒巻監督は、「闘わないやつは去れ！」と叱咤激励する中、チーム全員が、「何としても勝って北京に行く！」という強い闘争心を持って挑んだ。

日本は、3-2-1DFで韓国の高さをカバーしサイドへ追い込んでいく作戦。オフェンスでは、アップテンポのペースで果敢にシュートを狙い、更にスペースをつくり出しライン際を果敢に狙った。速攻の役割とバランスをとるところに課題があったため、爆発的な連続得点に繋がらなかった。ディフェンスは粘り強く守ることはできた。特に昨年の予選で13点を取られた尹に対して戦術を徹底できた。しかし、白には後半最後の場面に個人技で連続得点をされた。勝敗はテクニカルミスとシュートの決定率の差であった。

今までは、試合前そして闘っている中でも何か割り切れないものが漂っていたが、今日は我々の課題が本当に明確になったので、最終予選に向かって強化していく。

結果が出なかったことについて誠に申し訳ないが、フェアプレイを取り戻すことができたことで、新たな強化をスタートできた。日本協会幹部はじめ事務局の献身的たるサポートとメディアのバックアップ、そして何と言っても、1万人のサポートの声援には「鳥肌がたった！」本当に感謝したい。北京への道はまだ続いている。「NEVER GIVE UP！」



女子試合結果　日　本　21（12-18, 9-16）34　韓　国

女子日本代表、韓国に大敗。世界最終予選に向け巻き返しをはかる

前代未聞となった北京オリンピックアジア予選の再試合。日本と韓国、男女共に勝ったほうが北京オリンピック出場権を得ることができる。大会初日は女子の一戦。10番・呉、11番・洪、15番・李の強力なバック陣を配する韓国女子に対し、5番・田中を中心にスピードハンドボールを仕掛ける日本女子。メインスタンドの大歓声の中、韓国スローオフで前半30分が始まった。ファーストプレーは韓国11番・洪のフェイントから10番・呉のカットインで鮮やかに韓国先制と思われたがボールはサイドネットへ。日本は早いパス回しで韓国ディフェンスを崩しにかかるが、パスが乱れ攻めきれない。前半1分先制は韓国、10番・呉から9番ポストの金へ上手くつながり得点。直後に日本も2番・東濱が積極的な切り込みでミドルを決め同点とする。韓国はバック陣の巧みなパス回しとフェイントで日本ディフェンスを翻弄し、立て続けに7mスローを奪い前半4分には3対1とリードする。日本は韓国の変則的な3－2－1ディフェンスを攻めあぐね中々リズムに乗れない。前半6分、2番・東濱の突進で韓国10番・呉を2分間退場に追いやるも得点を奪えず、逆に15番・李のカットイン6番・アンの速攻などで6連続失点を許し前半9分には7対1とされ序盤から苦しい試合展開となる。流れを変えたい日本は韓国の高いディフェンスの裏を狙った攻撃で15番ポストの谷口、8番サイドの佐久川が加点するが、韓国1番GK・オウの再三に渡るナイスセーブにより点差が縮まらない。更に前半16分から20分に掛けて韓国が5連続で得点し15対6と大差がついてしまった。その後、日本は5番・田中の7mスローや11番・早船らの得点で詰め寄り18対12、韓国6点リードで前半終了。

何とか北京への夢をつなげたい日本は後半、ディフェンスに4番・青戸を投入し立て直しをはかる。GK勝田の好セーブ、5番・田中の中央突破、11番サウスポー早船のステップシュートなどで加点する日本だが、韓国も2番・WOOや10番・呉などで得点し後半12分23対17で依然として韓国の6点リードが続く。中盤、組織され運動量も豊富な韓国ディフェンスの前に日本は単純なミスを繰り返してしまう。後半20分過ぎには韓国10番・呉が速攻で持ち込み得点、29対19の10点差となる。必死に追いすがる日本女子だが、この試合絶好調の韓国1番GKの前に得点チャンスをことごとく止められてしまう。この試合7得点の2番・WOOや10番・呉に代わってコートに入った20番・MOONらが着実にシュートを決めた韓国は、日本女子に決定力の違いを見せ付け34対21、13点差で日本に勝利し北京オリンピック出場を決めた。日本は自分たちの持ち味を出せないまま悔しい敗退となった。3月の世界最終予選に向け必死の巻き返しに期待したい。

【得点】田中7、谷口5、東濱・早船3、佐久川2、藤井1

選手名簿

	氏名	所属先
総監督	西窪　勝広	(財) 日本ハンドボール協会
監督	Bert　Bouwer	(財) 日本ハンドボール協会
コーチ	藤本　元	(財) 日本ハンドボール協会
ドクター	佐久間　克彦	熊本赤十字病院
トレーナー	倉田　忠司	トータルヘルスコンディショニング
分析担当	小笠原　一生	国立スポーツ科学センター

背番号		氏名	所属先
12	GK	飛田　季実子	ソニーセミコンダクタ九州
1	GK	勝田　祥子	オムロン
13	CP	水野　恵子	オムロン
8	CP	佐久川　ひとみ	オムロン
9	CP	坂元　智子	オムロン
5	CP	田中　美音子	ソニーセミコンダクタ九州
17	CP	長野　かづさ	ソニーセミコンダクタ九州
20	CP	植垣　暁恵	広島メイプルレッズ
11	CP	早船　愛子	ゴヤ（スペイン）
7	CP	金城　晶子	マラガ（スペイン）
15	CP	谷口　尚代	リーザ（ドイツ）
2	CP	東濱　裕子	オムロン
3	CP	小松　真理子	カストロ（スペイン）
10	CP	藤井　紫緒	オムロン
4	CP	青戸　あかね	広島メイプルレッズ







男子試合結果　日　本　25（11-14, 14-14）28　韓　国

日本、韓国に敗れアジア予選突破ならず。世界最終予選に最後の望みをかける



やり直しとなった北京オリンピックアジア予選の大会２日目は男子。日本と韓国はフランスのレフェリーのもと「ガチンコ勝負」で北京への切符を争う。１万人を超える超満員の代々木第一体育館で、日本の青、韓国の赤で真っ二つに分かれたメインスタンドの大歓声の中、運命のホイッスルが鳴り、韓国スローオフで試合開始。韓国は13番・ユンをベンチスタートとするも18番・エース白、17番・李、7番・ヤンでどこからでも点を取りにいける強力な布陣。日本は6番・富田をトップに置いた攻撃的なディフェンスで相対する。ファーストプレーは前半1分、韓国18番・白がクルッと回るフェイントで突破し先制点をあげる。日本は立ち上がり、韓国の圧力のあるディフェンスでパス回しをさせてもらえない中で前半4分、怪我から復帰し予選のコートに立った6番・富田が豪快なステップシュートを決めて同点。前半5分には11番キャプテンの中川が得意のフェイントからディフェンスを抜き去り得点し2対1で日本がリードする。その後も両国は果敢な攻撃でシュートを放つが、日本12番・坪根、韓国16番・カンの両GKがスーパーセーブを連発。16分過ぎた時点で5対5、激しい攻防が続くがロースコアのゲーム展開となる。中盤まで韓国は17番・李、18番・白が個人技を活かして加点。日本は7番・宮﨑が厳しいマークにあうが、5番・末松が得点を重ね一進一退の接戦となり、前半19分で7対8韓国が1点リードしている。中盤以降、韓国は13番・ユンをポイントで使い始め徐々にリズムを作り前半23分ユンの得点で8対11、日本に3点差をつける。日本は11番キャプテン中川がディフェンスを鼓舞し20番・門山、13番・武田らで必死のディフェンスを続けるが韓国も多彩な攻めをみせて前半25分には9対13となり4点差となる。前半の終わりに7番・宮﨑がステップシュートを打ち込み11対14としたところで前半終了。



選手名簿

役職	氏名	所属
総監督	蒲生　晴明	（財）日本ハンドボール協会
監督	酒巻　清治	（財）日本ハンドボール協会
コーチ	佐藤　壮一郎	（財）日本ハンドボール協会
トレーナー	赤尾　和彦	（財）日本ハンドボール協会
トレーナー	山本　充侗	ベストコンディション
ドクター	沖本　信和	浜脇整形外科病院
分析	舎利弗　学	福島高等学校

背番号		氏名	所属
21	GK	四方　篤	Honda
12	GK	坪根　敏宏	湧永製薬
5	CP	末松　誠	大同特殊鋼
6	CP	富田　恭介	大同特殊鋼
13	CP	武田　享	大同特殊鋼
20	CP	門山　哲也	トヨタ車体
2	CP	豊田　賢治	大崎電気
11	CP	中川　善雄	大崎電気
9	CP	永島　英明	大崎電気
8	CP	岩本　真典	大崎電気
7	CP	宮﨑　大輔	大崎電気
3	CP	下川　真良	湧永製薬
17	CP	古家　雅之	湧永製薬
18	CP	山口　修	湧永製薬
23	CP	東長濱　秀作	湧永製薬

３点差を追いかける日本のスローオフで後半30分の開始。勝って北京に行きたい両国の気合がぶつかり合う。1分過ぎ、韓国18番・白、日本7番・宮﨑の両エースが点を取り合う。後半3分に日本17番・古家、7分には6番・富田が2分間退場し、韓国に得点差を広げる好機がおとずれるが、GK12番・坪根が韓国のスカイプレーをシャットアウト、2番・豊田がインターセプトをみせピンチを凌ぎ、後半10分で16対19。依然韓国の3点リードが続く。

試合の流れが傾いたのは12分過ぎ。日本のミスを速攻につなげて加点した韓国が一気に日本を突き放し、17対22の5点差とする。尚も後半14分、韓国は7ｍスローを奪い6点差をつけるチャンスを得る。シューターは13番・ユン、このピンチを日本21番GK四方がファインセーブで救った。ここから勢いに乗っていきたい日本、後半15分過ぎに酒巻



監督はタイムアウトを要求し逆転に向けた指示を与える。

18番・山口、9番・永島の気迫のこもったディフェンスが韓国の攻撃を寸断し、いよいよ日本の追い込みが始まる。7番・宮﨑、17番・古家、3番・下川、20番・門山で4連取し後半23分には21対23の2点差まで詰め寄り、逆転ムードが高まっていく。18番・白の個人技で得点し逃げる韓国、18番・山口、20番・門山、7番・宮﨑の加点で追いすがる日本。後半27分で24対26、1点差にしたい日本だったが、27分31秒に韓国18番・白に渾身のステップシュートを決められてしまい24対27。残り時間で何とか追いつきたい日本、奇跡を祈る日本サポーターであったが29分、再び18番・白にサイドシュートを決められ万事休す。25対28、3点差で韓国が勝利し男女ともに北京オリンピック出場となった。僅差での敗退で悔やまれる日本だが、5月の世界最終予選に最後の望みをかける。必ず北京へ行けると信じている。

【得点】末松・宮﨑5、富田4、古家3、豊田・中川・門山2、下川・山口1



2008 北京オリンピックアジア予選ＩＨＦ再試合決定に至る経過

■12月17日（月）　ＩＨＦ常任理事会においてアジア予選のやり直しを決定。72時間以内に詳細を発表するとした。

■12月20日（木）　ＩＨＦがＩＨＦニュースにて、アジア予選の関連記事を発表。

・再試合の決定した後、関連機関と開催努力中である。詳細については、出場国の同意を得てからウェブ上で発表する。

■12月21日（金）　ＩＨＦが、ＡＨＦと8月の女子アジア予選参加国と9月の男子アジア予選参加国にレターを送付。

（ＡＨＦ宛）　・アジア予選の再試合は1月末までに開催すると決定したので日時と場所をＡＨＦに提案して欲しい。

・男女合同開催が望ましい。

・中立国であることから、中国が適しているのではないかと思われる。

（予選参加国宛）　・アジア予選のやり直しが決定され、大会はＩＨＦの管理下で行う。

■12月23日（日）日本協会強化本部会議を開き、男子代表監督にトヨタ車体監督・酒巻清治氏を内定。

■12月24日（月）日本協会緊急常務理事会を開き、男子・酒巻監督を承認。また男子総監督に蒲生晴明氏、女子総監督に西窪勝広氏を決定。

■12月25日（火）　中国協会より、時間と費用の問題から、開催できないとの回答が来る。

■1月4日（金）～7日（月）　男子代表チームが強化合宿（愛知）。

■1月5日（土）　ＡＨＦ緊急常任理事会（クウェート）でＩＨＦによる再予選の決定を拒否。

■1月10日（木）　ＩＨＦが再予選の適地が見つからなかった為、日本開催を、日本協会に打診。日本協会は受諾する。

■1月13日（日）～15日（火）　男子代表チームが強化合宿（佐賀）。

■1月14日（月）～18日（金）　女子代表チームが強化合宿（熊本）。

■1月18日（金）　ＩＨＦより、再予選の参加国は男女とも日本・韓国の2ヶ国と連絡。

■1月19日（土）　日本協会は1月29日（火）に女子、30日（水）に男子の試合開催を発表。

■1月20日（日）　ＩＨＦがＩＨＦニュースにて、北京オリンピック再予選は1月29日・30日、東京・国立代々木第一体育館で開催し、参加国は日本と韓国と発表。

■1月21日（月）　男子強化合宿（ナショナルトレーニングセンター）開始。

■1月23日（水）　女子強化合宿（ナショナルトレーニングセンター）開始。

■1月29日（火）　女子　日本 vs 韓国戦

■1月30日（水）　男子　日本 vs 韓国戦

IHF 女子世界最終予選

期間：2008年3月28日～30日

各グループ内でリーグ戦（総当り）を行い、上位2ヶ国が出場権を獲得する。

	1グループ	2グループ	3グループ
開催地	ドイツ・ライプチヒ	ルーマニア・ブカレスト	フランス・ニーム
1	ドイツ	ルーマニア	フランス
2	スペイン	クロアチア	ハンガリー
3	スウェーデン	コートジボアール	**日　本**
4	キューバ	ポーランド	コンゴ共和国

Photo Snap

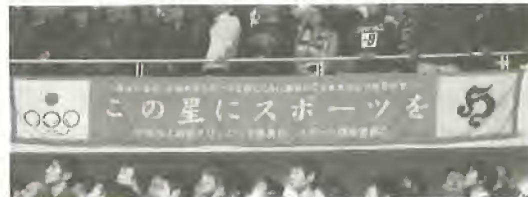
2008北京オリンピックアジア予選（再試合）



揃いの応援Tシャツでの大声援が会場に響いた



僕達も応援するぞ…



JOC：「この星にスポーツを」の横断幕





IHFから派遣のレフェリー（左；フランスペア［男子］、右；デンマークペア［女子］）



JOC：「スポーツと環境」ポスター



女子日本代表の皆さん（国旗掲揚）



IHF のマークがセンターを占める



（財）サッカー協会から支援のブルークロス



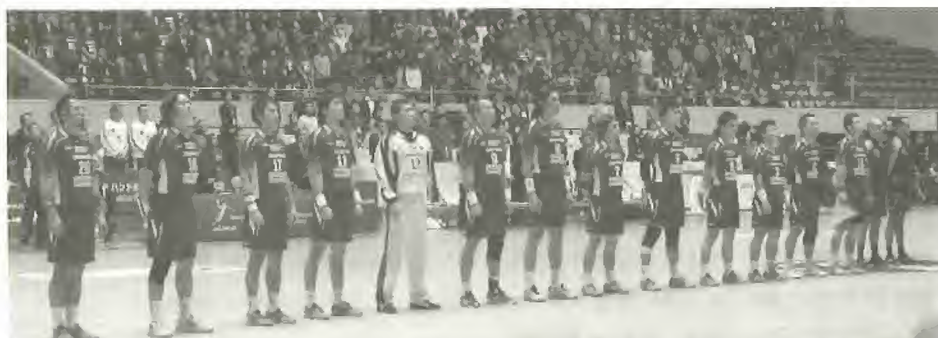
踏み場もない報道陣の過熱振り



早船選手のサイドシュート



ドーピング検査対象選手抽出



男子日本代表選手の皆さん（国旗掲揚）



富田選手のポストシュート



大声援をおくる韓国の応援団



韓国男子、勝利のパフォーマンス

北京オリンピックアジア予選強化合宿から（2008年1月23日）



NTCの全景（この日は冬景色）

完成したばかりのNTC（ナショナルトレーニングセンター）で、男女の強化合宿が公開されました。

【注】ナショナルトレーニングセンターは、日本初のトップレベルの競技者専用トレーニング施設で、東京都北区西が丘に建設され、10競技の専用練習場を備えた体育館（ハンドボール専用コートは２面）、宿泊施設を備え、又各施設には最新の映像設備などが整備している。



トレーニングセンター入口



ハンドボールコート入口の案内



専用コート２面が併設されています



会場の様子はモニターＴＶに直結しています



酒巻男子新監督と宮崎選手



陣頭指揮の中川キャプテン



男子選手・全員集合



報道陣は150名を超えた！



女子選手アップの様子



女子は初日の練習でした

第59回

全日本総合選手権大会

総　評

東京都ハンドボール協会理事長　大塚 文雄



平成19年度第59回全日本総合選手権大会は、女子はオムロンの3連覇、男子は大同特殊鋼の2連覇で幕を閉じた。

大会を振り返ると、オムロンは坂元選手を中心とした堅いディフェンスから層の厚い攻撃陣、取り分け、昨年10月から加入した藤井選手のパワー、洪選手の巧みなプレー、東濱選手のロングシュート、キャプテン佐久川選手と水野選手の速攻など、そしてゴールキーパー勝田選手の好守で文句なしの3連覇、層の厚さを見せつけた。

男子では、大同特殊鋼が知的なハンドボールプレイで優勝をものにした。大同特殊鋼といえば、私のイメージでは、まさに鋼（ハガネ）のような選手達の集団、「力」で得点を奪い取って勝利するチームカラーの印象が強い。今大会、私は運営に専念していたので試合のほうは、ほんの少し垣間見ただけであるが、知的なハンドボールに変身したように感じた。特に準決勝の日体大戦では、トヨタ自動車、Honda、トヨタ車体を撃破し波に乗る日体大の学生界№1攻撃陣を、激しいプレスディフェンスで何もさせない展開で勝利をものにした。

大崎電気との決勝戦も大同特殊鋼の戦術・戦略が勝り、高い技術を誇る大崎電気の攻撃の糸を断ち切り、力を発揮させないまま勝利をものにした。最優秀監督賞に輝いた大同特殊鋼・清水監督のゲームの分析力とそれを基にしたゲームの戦術・戦略の勝利といえる。

それにしても、大会を運営する「縁の下の力持ち」がこんなに大変だったとは…。

私が全日本総合選手権大会に関係したのは、日本協会50周年記念誌・60周年記念誌で調べてみたら、何と26回も審判員や大会役員で参加していた。それなのに大会を企画・立案し運営したことは一度もない。右も左もわからないそんな中、評価はともかくとして、一応この大会が終了したことは、日本協会役員の方々、事務局の方々の助言、アドバイスがあったからこそです。また多くの協賛企業の方のご協力、東京都ハンドボール協会役員の献身的なご協力、そして都高体連の先生方、ハンドボール部員の方、関東学連の方、色々な方にお世話になり、ただただ感謝で頭を下げるだけである。

そして何よりも大会を盛り上げていただいたファンの皆様、サポーターの皆様、本当にありがとうございました。ハンドボールは選手が居て審判が居れば良いのではありません。観客の皆さんのお陰で試合が盛り上がり競技が発展していくのです。今回の大会に足を運んでいただいた約5,000人のファンの皆さま、この場をお借りして改めて本当にありがとうございました。もし、次回の開催があれば10,000人の動員をしたいと考えております。その節はまたご来場をよろしくお願い致します。



写真提供：スポーツイベント社

男子優勝

大同特殊鋼



写真提供：スポーツイベント社

全日本総合優勝について

ハンドボール部監督　清水博之

今回、第59回全日本総合選手権大会で優勝することができとても嬉しく思います。

これも日頃から大同特殊鋼ハンドボール部の活動にご協力して下さっている沢山の方々の支えがあったからこそ成し遂げられたと感じております。

今大会を振返ってみますと、学生（特に日体大）が驚異的なスピードとテクニックで実業団チームに食下がり大会を盛上げていたと感じました。大同も早稲田大・日体大と対戦いたしましたが、両校とも粘り強く、気の抜けない試合となりました。決勝戦では昨年同様、宿敵大崎電気と最後の最後まで手に汗握る攻防ができ、充実した大会となりました。

今年度を振返って見ると、オフシーズンから積極的に体力アップを計る為に基礎トレーニングに重点を置き、練習に励んで来ました。実業団選手権、国民体育大会は不本意な結果に終わりましたが、リーグ中盤からは徐々に調子も上がり、ベンチ入りした14名がフルに動き後半に入ってから粘り強い動きができるチームになってきたと感じております。ですが今年度のタイトルを1個獲ったに過ぎず、喜びつつもプレーオフ優勝に向けてこれから頑張っていく所存です。今後もチーム一丸になって頑張っていきますので、変わらぬご声援宜しくお願い致します。

全日本総合選手権を振り返って

ハンドボール部キャプテン　白　元喆

今回２年連続で全日本総合選手権で優勝することができ大変嬉しく思います。

僕自身、今年度からキャプテンになりまだ優勝がなかったので、今回の優勝は正直ホッとしている部分もあります。

昨年度、大同は国体以外全ての試合に勝ち調子が良かったですが、今年は昨年と違い、外国籍プレイヤー・オンコート１名のルールもでき、厳しい戦いが続いたと思います。ですが、そんな時にこそ監督初め選手全員が一つになり、乗り切って来られたと思っています。その結果が今回の全日本総合の優勝だと思います。

この勢いをとめる事無く残りのリーグを良い形で勝利し、最後のプレーオフでも大同の良さを全面に発揮し、日本リーグＶ３を達成したいです。

皆さん、今後も変わらぬご声援宜しくお願いします。



写真提供：スポーツイベント社

女子優勝
オムロン



全日本総合優勝について

ハンドボール部ヘッドコーチ　黄　慶泳

第59回全日本総合選手権でオムロンが3年連続11回目の優勝することが出来まして大変光栄だと思い、素直に喜んでいます。ハンドボールに専念出来る環境を作ってくださる会社の皆様方、応援に駆けつけてくれている応援団、そしてファンの皆様の力が無かったら、大会3連覇は達成出来なかったと思います。

今大会の直前には日本リーグの2試合を連敗し、苦しい状況に追い込まれる時期もありました。

その時に、会社の立石信雄オーナー、西村耕一社長そして西窪勝広GM代行より厳しいお言葉を頂きました。

今まで勝って来て、女王という格好いい言葉が頭に無意識の中にもあるのではないか、その結果いつでも勝つという錯覚に陥っているのではないか、そして何より組織の中での基本とルールが無くなっているということでした。

他のチームは著しく成長して安定している中で、このままでは勝ち進めない。その為には組織が機能するよう、連係と繋がりのある基本動作が必要だという事に、私を含めて選手全員が改めて気付いたような気がします。

それからは吹っ切れた様に全体の雰囲気と選手個々の目の色が変わって来て、先ずは練習に対する取り組みが素直であったし、問題点に対する選手間の会話が増えて来ました。忘れかけていました勝ちに対する執念を取り戻せたと思います。

個々が行動で見せるようになり、良い準備をして緊張感と危機感を持ってこの大会に臨んだ結果が優勝に繋がったと強く感じています。

大事なタイミングで、選手団が変わるように刺激を与えて下さった事に感謝すると共に、行動を変えてくれた選手達にも感謝です。

今回得た教訓と全日本総合大会の優勝を糧に、後一つ残している日本リーグでも優勝出来る様に頑張りたいと思いますので、これからも熱い応援を宜しくお願いします。

全日本総合選手権を振り返って

ハンドボール部キャプテン　坂元智子

全日本総合選手権におきまして、3年連続11度目の優勝を飾ることができ大変嬉しく感じております。

日本リーグで2連敗した直後にはナショナル選手6名が世界選手権のため約3週間チームを離れる事で、お互いに不安を残す状態でしたが、帰国してからは全員が緊張感ある中で練習に取り組むことができました。

その中でもオムロンGMでもある西村社長より「初心に戻り、チャレンジャーとしての気持ちを持って試合に臨みなさい」と、心に響く言葉をいただきました。

その言葉を選手一同が胸に秘め大会に臨んだことで、準決勝・決勝戦ではオムロンの持ち味であるDFで力強さを発揮出来たと思います。短期間で試合に集中して臨めたのも、ナショナルメンバーが抜けた時にチームを守ってくれたメンバーや、いつも周りでサポートして下さっている皆様のおかげだと感謝の気持ちでいっぱいです。

試合においては展開に波があり、勝負どころのミスで相手にチャンスを与える事も多く、まだまだチームとしての課題を残す試合ではありましたが、まずは全員が体を張ってボールにくらいつく姿勢や基本的な行動が、勝敗を分ける大切なポイントになると改めて痛感した大会でもありました。

初心の気持ちを忘れず、今後も取り組んでいきたいと思います。

ご声援、ありがとうございました。



Photo Snap

第59回全日本総合選手権大会



都立小平高校ハンドボール部もお手伝い



試合終了直前のドーピング検査対象選手抽出



試合前の練習を見つめるファン



ハーフタイムのダブルダッチ



日本体育大学12年振りのベスト4へ



「忘れない」Tシャツで…



渡邉大会会長から表彰（大同特殊鋼）



渡邉大会会長から表彰（オムロン）



表彰式に立ち会う大会役員のみなさん



監督表彰を受けるオムロン・黄ヘッドコーチ（左）と大同特殊鋼・清水監督（右）



大会MVPを獲得した大同特殊鋼・末松選手(右)とオムロン・勝田選手（左）（大塚大会副委員長から）



男子決勝戦の審判：家永・福島ペア

第16回 JOCジュニアオリンピックカップ2007 ハンドボール大会

最終順位			
男子		女子	
優　勝	山口県選抜	優　勝	福井県選抜
準優勝	宮崎県選抜	準優勝	東京都選抜
第３位	沖縄県選抜	第３位	京都府選抜
	愛知県選抜		熊本県選抜

表彰選手	
男子	女子
オリンピック有望選手	オリンピック有望選手
佐々木亮輔（岩手・黒石野中）	該当者なし
下地　亮（沖縄・平良中）	
最優秀選手	最優秀選手
久保二千笑（山口・岩国中）	高久陽子（福井・光陽中）
優秀選手	優秀選手
田村卓大（山口・岩国中）	永井希和（福井・安居中）
谷乃木　陵（宮崎・三松中）	足立未奈（東京・東久留米市立西中）
柳　雄大（愛知・御幸山中）	中村光代（東京・町田市立南中）
山田隆平（沖縄・長嶺中）	櫻井友美（京都・大住中）
堤　由貴（京都・月輪中）	宮本夏澄（熊本・都呂々中）
平子健人（三重・白子中）	水田亜莉沙（熊本・松橋中）
森田啓亮（岩手・花巻北中）	宇田萌乃（埼玉・三郷市立北中）

総評

JOCジュニアオリンピックカップハンドボール大会事務局　逢阪 静男



第16回JOCジュニアオリンピックカップハンドボール大会が12月25日（火）～28日（金）までの４日間、堺市家原大池体育館、堺市金岡体育館に加え堺市原池公園体育館の３箇所で、北は北海道から南は沖縄県まで全国９ブロックより、予選を勝ち抜いた男女48チームが熱戦を繰り広げた。

今大会から、北海道ブロック男女各１チーム、東北ブロック男子３チーム、女子２チーム関東ブロック男女各４チーム、北信越ブロック男女各２チーム、東海ブロック男女各２チーム、近畿ブロック男女各３チーム、中国ブロック男女各２チーム、四国ブロック男子１チーム、女子２チーム、九州ブロック男女各４チーム、開催地代表男女各１チーム、昨年度優勝ブロック男女各１チームが加えられ48チームの参加となり、男子では宮城県、大分県。女子では秋田県、栃木県、佐賀県がそれぞれ初出場。また久々の出場府県もありチーム数の増加で新しい顔ぶれも見られた。

このJOCジュニアオリンピックカップハンドボール大会は、夏の全国中学生大会や、春の全国中学生大会とは違って、都道府県の選抜でチーム編成され、大会の趣旨とする将来、オリンピック、世界選手権大会において、日本代表選手として活躍する将来性のあるジュニア選手の発掘と育成を目的とした大会である。各都道府県は勿論のこと、選手自身もトップアスリートを目指した目的を持った選手でチーム編成されており、最近の３～４年どの戦いを見ても目を離せない好ゲームが展開されるまで成長してきた。

本大会の目玉は、男子春、夏を制した吉川中央の埼玉県選抜、夏のベスト４に２チームが入った茨城県選抜、女子では春、夏を制した東久留米西の東京都選抜、夏の優勝チームと大接戦を展開した山口県選抜、京都府選抜であった。男子決勝戦では山口県選抜対宮崎県選抜の試合となった。宮崎県選抜の10番谷之木君と山口県選抜３番久保君の打ち合いとなり、前半は、宮崎県選抜が５点リードしており返し、後半もこのまま行くかと思われたが山口県選抜のGK１番田村君の好セーブにより逆転し、さらに５点差をつけて山口県に初優勝をもたらした。一方、女子決勝戦では春、夏、JOCと３冠のかかった東久留米西中学校の入った東京都選抜と、京都府選抜を倒した福井選抜との戦いとなった。福井県選抜は前田さんの連続得点で先制するが、東京都選抜もポストからのセットで反撃。前半は14対13で福井県選抜がリードし、後半に入っても一進一退の好ゲームで、14分福井県選抜は退場でピンチを迎えるが、逆に得点を挙げ、そのまま勢いが止まらず11年ぶり２回目の優勝を飾った。

最後になりましたが、16回大会は会場も３箇所にわかれ交通の便も悪く、不安な材料もたくさんあり、大会参加チームの皆様には大変迷惑をおかけしましたが、各チームとも力を十分に発揮し、好ゲームを展開され大会を盛り上げていただいたことが、大会関係者に取りまして一番の喜びでありました。また、多くの大会役員として運営に携わっていただいた皆様、大学生、高校生、中学生の生徒役員の皆様、広告協賛を戴いた企業、団体、個人の皆様のおかげで一歩前進し、更に充実した大会になり無事終えることができたと思います。関係者一同感謝の気持ちでいっぱいです。

第17回JOCジュニアオリンピックカップハンドボール大会もこの堺の地で開催することが決まっています。全国各地の１・２年生の皆様、多いに鍛え、心と技を磨いてこの大会に参加してください。お待ちしています。

男子優勝

山口県選抜



全員ハンドボール

山口県選抜男子チーム監督　林 孝志

第16回 JOC ジュニアオリンピックカップ 2007 ハンドボール大会で栄えある優勝を勝ち得たことを心から嬉しく思っています。

「最終日進出」を目標に掲げ大会に臨みましたが、県外チームとの練習マッチや直前の高校生との練習マッチの内容も良く、手ごたえを感じての大阪入りとなりました。

しかし、初戦となった大分県選抜戦では、緊張感のためかやる気が空回りしているような状態でミスも多く、なかなか思うようにゲームを進めることができませんでした。初戦の入り方の難しさを痛感しましたが、「勝てたことが最大の収穫」と前向きに考えようと選手、スタッフともに確認しました。

予選リーグ第二戦の東京都選抜戦、準々決勝・福島県選抜戦、準決勝・沖縄県選抜戦も厳しい戦いの連続でしたが、積極的なディフェンスからボールを奪い、速攻につなげるというこのチームの最大の特徴を活かすことで突破することができました。



いよいよ登りつめた決勝の舞台。試合前の選手たちの表情からはほどよい緊張感とやる気が感じられ、ベストコンディションで戦えることを確信しました。宮崎県選抜との大一番は前半を５点のビハインドで折り返す厳しい展開となったものの、ハーフタイムに「後半に必ず山口の流れになる時間帯が来る。そこを逃さなければ追いつける」と選手を叱咤激励し、コートに送り出しました。後半はまさに今大会のベストパフォーマンス。一気に宮崎を捉え、逆転に成功。優勝という最高のゴールにたどり着きました。

今、改めて勝因を考えてみると、最優秀選手に選ばれた久保くんという確かな柱があったことは間違いないのですが、最大の勝因は全員ハンドボールだと思います。全員で守って、全員で攻める。それを最後までやり切れたことが大きかったのではないかと感じています。そして、体格面では劣っていても、精神面では決して負けることがなかった選手たちの強い気持ちも賞賛に値すると思います。

また、私が監督を務めるにあたって、オフェンスコーチとして堀本先生（美川中）、ディフェンスコーチとして藤高先生（通津中）、スーパーバイザーとして湯浅先生（岐陽中）に協力をお願いしましたが、このスタッフ体制がうまく機能したことも重要なポイントと言えます。それぞれが意見を出し合い、チームに伝えていくことでチーム力を向上させることができました。

最後になりますが、このチームを支えてくださった多くの方々に心からの感謝を伝えたいと思います。常にサポートしていただいた保護者の方々、快く練習相手になってくださった高校の関係者の方々、最後まで一緒に戦ってくれた女子チームのスタッフと選手たち。それらすべての人たちと共に勝ち得た日本一だと実感しています。ありがとうございました。

夢の全国制覇

山口県選抜男子チームキャプテン　角田 誠太

僕たちは7月のチーム結成以来、県内の高校生に相手をしていただき練習を重ねました。その中で、チームの結束を深めながら、ディフェンスの連携とオフェンスのコンビに意識を置いてきました。具体的には、ディフェンスでは、お互いが声を掛け合ってポジショニングを修正したり、早めのカバーを心掛けたりしながらレベルを上げていきました。オフェンスでは、テンポの速いパス回しとコートバランスを意識しながら前を狙っていく攻撃に重点を置いて練習していきました。また、チームの欠点として、50分の試合の中で集中力が途切れる時間帯があることが感じられたので、チーム全体で常に声を出し続けることを徹底して、克服しようとしてきました。

そんな取り組みを繰り返し、いよいよやってきた全国の舞台。初戦を迎える前日のミーティングでは、「何に気をつけてゲームに臨むか」ということを話し合いました。そして、チームとして三つの約束を決めました。それは、「ノーマークシュートを確実に決める」「相手チームの中心選手をフリーで動かさない」「声を掛け合い、集中力を持続させる」の三つです。何でもない約束事ですが、この三つを徹底できれば勝ち進めるはずと信じていました。

しかし、初戦の大分県選抜とのゲームは、緊張のせいか、心にゆとりがなくなり、視野が狭くなってミスを多発しました。最後の最後まで苦しい展開が続き、やっとのことでの勝利でしたが、初戦を突破できたことで、精神的な落ち着きを取り戻せました。このゲームの反省を生かし、次の試合からはメンバー一人ひとりが持ち味を発揮し、勝ち進んで行くことができました。

そして迎えた決勝戦。コンビプレーがうまく、力強さをもった宮崎県選抜との対戦でした。前半はミスからの失点などで焦ってしまったこともあり、5点差を付けられてしまいました。しかし、後半はディフェンスを修正し、最大の武器である速攻が決まり始めました。ゲームをしながら、チーム全体がどんどん盛り上がっていくのを感じました。勢いをつかんだ僕たちは逆転に成功し、そのままタイムアップのブザーを聞きました。夢にまで見た全国制覇の瞬間でした。

僕たちは、中学生最後の大会を最高の結果で締めくくることができました。これは僕たちだけの力ではなし得なかったことです。僕たちを日々の練習で鍛えてくれた各チームの先生方、チーム結成以来、僕たちを指導してくれたスタッフの先生方、そしていつも家庭で僕たちを支援してくれた保護者のみなさんのおかげです。感謝の気持ちでいっぱいです。

この気持ちを忘れることなく、高校生になっても慢心せずにハンドボールに取り組んでいきたいと思います。そして、再び、全国大会の頂点を目指して頑張りたいです。

女子優勝

福井県選抜



JOCへの想いに感謝の心を込めて

福井県選抜女子チーム監督　高野 郁代

おかげさまで、今大会において11年ぶり2度目の優勝をすることができました。前回優勝の第5回大会では、谷口尚代選手（福井出身ドイツ・リーザ）がオリンピック有望選手、猪妻正活選手（大崎電気）が最優秀選手と、現在全日本に選ばれている選手達が活躍していました。福井選抜はこれまで、第4回大会3位、第10回大会3位、第14回大会3位と6回出場中優勝2回、3位3回という素晴らしい結果を残しています。

現在福井県には中学女子チームが福井市内５チーム、小学校は３チームしかありません。今回は光陽 12 名・安居１名・大東２名・明倫１名の構成で臨みました。３年生９名のうち８名がスポーツ少年団の出身であり、野路さん、林さん、松山さんという熱心な指導者の元で育ってきた、ハンドボールの大好きな生徒達の集まりでした。このチームは夏の全国大会ベスト８の光陽を中心に組まれていますが、これまで、福井商業高校の胸を借り練習を重ねてきました。今回の優勝を一番喜んでくれたのは、第 14 回大会で３位に入賞したメンバー達です。自分達の果たせなかった「優勝」の二文字を託した後輩達に、心からエールを送ってくれたことは、選手達に大きな勇気を与えてくれました。

大会では重点的に練習してきたディフェンスが機能し、スピードある速攻からの展開ができました。試合後半に彼女たちの持ち味である速攻が生かせたのは、ハーフタイムにきちんとディフェンスを修正できたからだと思います。さらに、最優秀選手賞をいただいた高久陽子（光陽）のゲームメイクが冴えていたことも大きなポイントでした。夏の全国大会までは２年生が４人ということで、試合での負担が大きく苦しい状態でしたが、45 度坂本優惟・ポスト堀川真奈・サイド林夏美達の成長により、高久はその長所を存分に発揮することができました。これは、チームとして最も大きな収穫です。また、最優秀賞 GK 永井希和（安居）の位置取りの正確さや安定したキーピングもチームのディフェンス力を高める一因であったと思います。スピード抜群の前田有咲（光陽）・サイドシュート決定率の高い長野朱夏（光陽）・スピードとシュート力のある奥村仁美（明倫）・７mT で決めてくれたサウスポーの小島朋子（大東）・センスある齊藤加那子（大東）・前十字靭帯断絶から復帰した江守奈都美（光陽）・チームを一番に考えた大屋眞奈美（光陽）、こうして３年生が自分達の役割を果たしてくれたことが優勝できた大きな原動力だと思っています。生徒達は、本当に日本一になりたいというただその一念でがむしゃらにボールを追い、ひとつのボールを守ることで「チームプレーの勝利」を手に入れたのです。

今回の優勝は福井県のハンドボール界に情熱を注いでくださった方々の深い想いと、ご支援・ご協力してくださった保護者・地域のおかげだと本当に感謝しています。また、練習の環境作りやサポートをしてくださった県協会の方々、ありがとうございました。今後も素晴らしい環境と、支えてくださるたくさんの方々、何より大好きなハンドボールをさせていただいていることに感謝しながら精一杯頑張っていきたいと思います。最後になりましたが、毎回素晴らしい大会を運営してくださっている役員の皆様、本当にありがとうございました。



夏の弱さを克服して

福井県選抜女子チームキャプテン　高久 陽子

第16 回 JOC ジュニアオリンピックカップハンドボール大会で優勝することができました。これまでたくさんの時間を割いてご指導下さった、高野郁代監督と園谷健志コーチ、そして心ゆくまで練習に専念できる環境を与えて下さった、福井県ハンドボール協会の皆様や地域の方々、家族に心から御礼の言葉を申し上げます。

昨年の夏、光陽中学校は北信越代表として全国大会に出場し、福島の地で貴重な経験をいたしました。緊張やプレッシャーに負けてしまう弱さ、競っている時に冷静な判断ができなくなる弱さ、何より自分自身に負けてしまう弱さを知ることができました。その後の決勝戦では、晴れの舞台でプレーできるチームの選手が、ただただ羨ましい気持ちでいっぱいでした。

「全国大会での忘れ物を取りに行こう」

８月末、すぐに結成された県選抜チームの仲間と誓った言葉。ベスト４以上に勝ち上がるため、スピードのある攻撃と堅い守りの強化に力を注ぎました。

夏の経験もあって、大きな焦りもなく予選リーグを勝ち抜くことができました。準決勝は、夏に敗北した京都選抜との雪辱戦でした。２点差を追って折り返した後半戦、夏の弱さを克服し、自分たちの持ち味を生かして逆転することができました。

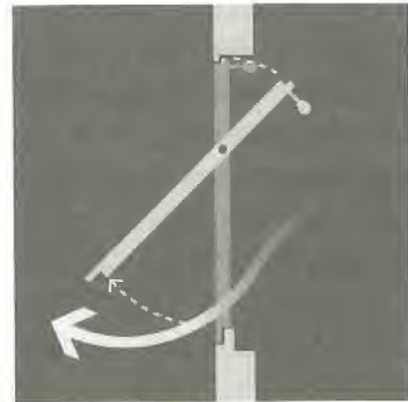
そしていよいよ迎えた決勝戦。このメンバーでできる最後の 50 分間、できることは全て発揮して勝ちにいこう。夏の覇者、東京選抜からすぐに先制点を連取すると、気持ちも落ち着き、周りがよく見えてきました。試合は競っていましたが、仲間を信じ、焦ることなく楽しむことができました。夢にまで見た、あのセンターコートで。

最後になりましたが、このように私たち中学生が目標とし、成長の場として挑戦できるすばらしい大会を開催して下さった関係者の皆様、大阪府、堺市の皆様、どうもありがとうございました。今後は、今大会での成果を糧にして、日本代表としてオリンピックのような大きな舞台で活躍することも目標に、一人ひとり精進してまいりたいと思います。

呼吸する建築







Swindow ● スウィンドウ
わずかな風圧も捉えて自然に開閉し、室内外の温度差で効率の良い換気が行えるバランス式逆流防止窓。



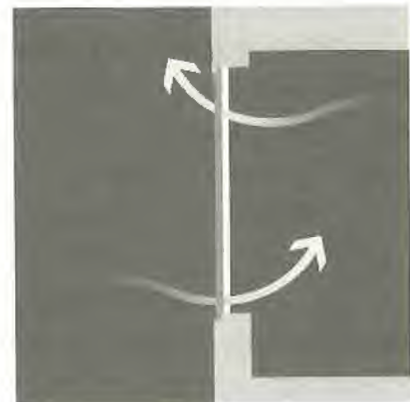




Wincon ● ウィンコン
内蔵の調節弁により、風の強弱に影響を受けにくく、定風量で換気が行えるヨコ型定風量換気スリット。







Cavcon ● キャブコン
内蔵の調節弁により、強風時でも一定の風量で換気ができ、無風時でも内外の温度差による重力換気が行えるタテ型定風量換気スリット。

NAV WINDOW 21

「呼吸する建築」。それは人が呼吸をするように
建築が自然に空気を取り入れ、建物内部の空気を新鮮に保ち
不要なものを排出するシステムを持つことです。
自然換気システム＝NAV WINDOW 21は
これまでの建築の機械空調と共存し
建物を取り囲む風を読み、建物内に風の道を作りそれを状況の変化に
あわせて制御する画期的な換気システムです。

三協立山アルミ株式会社
東京本社／〒164-8503 東京都中野区中央1-38-1
住友中野坂上ビル20F〈環境商品部〉 TEL (03) 5348-0367
インターネットホームページ http://buildingsash.net/

～ハンドの父は何を思ったか～

企画・広報委員
早川　文司

Free Throw フリースロー

北京五輪アジア予選再試合で一躍脚光を浴びたハンドボール。球界で以前から指摘されていた「中東の笛」も、連日メディアに登場して、今ではすっかり“流行語大賞”になった感さえする。さらに前売り券が売り出されるや男子はわずか40分という信じられないスピードで完売された。

再試合は悔しいながら男女とも韓国に敗れたが、こうした異例とも言えるヒートアップした現象を、今後にどう活かして球界の発展、ひいてはメジャー化へつないでいくか。関係者には新たな課題をつきつけられたともいえよう。

ところで再試合第１戦となった1月29日は、奇しくも「日本ハンドボールの父」と言われた大谷武一氏の43回目の命日だった。

日本協会50周年を記念して刊行された「日本ハンドボール誌」に詳しく紹介されているが、それによると、ドイツで目の当たりにした「競技」に相当、ショックを受けたようだ。

大谷氏は1887年、兵庫県に生まれ、1966年、78歳で急性肺炎のため死去されたが、東京高等師範学校で教べんを執っていた時に欧米に留学、ドイツで出会ったハンドボールにすっかりトリコになったようだ。帰国した1922年、初めて日本体育学会の講習で披露した。

普及、振興、さらには協会創立にも貢献されたが、その熱意はかなりなものだったようだ。まさに「日本ハンドボールの父」と呼ばれるにふさわしい人だったのだろう。

「将来は日本の国技の一つに…」と大きな夢を描いて奔走されたという姿が、目に浮かぶようだ。その夢はいまだに夢のままの感じだが、今回のヒートアップをどのような心境でながめているのだろうか。

喜んでいるか、やっとここまでになったかなど、いろいろと泉下で思いを巡らせているのではなかろうか。あるいは「もっとみんなでこの絶好のチャンスが発展に役立つように頑張れ」と、歯ぎしりしているかもしれない。

いずれにしても、考えられなかったほどの脚光を浴びたことだけは間違いない。韓国との決戦には敗れたが、まだ最終予選での北京出場への道は残されている。あれほど多くの人たちから注目され、ハンドボールという競技の面白さもPRできた。このうれしい出来事を簡単に手放してはあまりにも寂しいだろう。

ハンド一筋30年!!

Windows版専用

スポーツイベントハンドボール Handball
全386号を完全収録

30th Anniversary Special Digital-Library DISK

1977年10月25日にタブロイド判の新聞スタイルとして発刊した「スポーツイベント・ハンドボール」第1号

1977年10月25日にタブロイド判の新聞スタイルとして発刊したスポーツイベントハンドボールの第１号から2007年12月号まで全386号を「創刊30周年記念Digital-Library DISK」(定価29,400円＝ＤＶＤ３枚・ＣＤ１枚セット)としてお届けします。この記念DISKで"ハンドボール30年"をすべて収録、人気を博した技術講座の連載やエッセイなども楽しむことができ、便利な目次機能もセットされています。どうぞこの機会にお求めください。

- Disk.0 …1977/10～1979/10 タブロイド判 47号
- Disk.1 …1979/11～1987/12 雑誌タイプ全 98号
- Disk.2 …1988/01～1997/12 雑誌タイプ全121号(増刊号含む)
- Disk.3 …1998/01～2007/12 雑誌タイプ全120号

30th Anniversary Special Digital-Library Disk.1

年次別リンク

① 1979年 / 1980年 / 1981年 / 1982年 / 1983年 / 1984年 / 1985年 / 1986年 / 1987年

Disk 1 目次 / 30年目次

操作方法は簡単





「スポーツイベント・ハンドボール」のすべてを画像データ(ＰＤＦ形式)にして３枚のＤＶＤと１枚のＤＶＤに収録。永久保存版のデジタルライブラリーとしてお届けします。

※macには対応しておりませんのでご了承ください



●スポーツイベント・ハンドボールＨＰのオンラインショップ(http://sportsevent.jp)、または電話、FAX、E-mailでご注文ください。(オンラインショップでのご購入は送料500円サービス。カード・コンビニ決済、郵便振替、代引郵便がご利用できます)

定価 **29,400**円(税込)

ダイナミック・ハンドボール



"宮崎大輔MODEL"テクニカルブック
ダイナミック・ハンドボール

スーパープレーの連続写真が満載!!

松井 幸嗣
斎藤慎太郎 共著
川上 整司

定価**1700**円(税込・送料160円別)
Ａ５版並製・168ページ

日本ハンドボール界のエース宮崎大輔選手を中心に日体大選手がモデルとして登場！ わかりやすく、すぐにコートで役立つよう、試合中を含む連続写真を主体に構成されたスキルブックです。よりハンドボールの魅力をお伝えするため、日本リーグやオリンピック、世界選手権など国内外の舞台で躍動するスーパースターのダイナミックなプレー写真もふんだんに織り交ぜています。ハンドボールを初めて経験する小学生レベルから、中・高校生の部活動や大学の体育・スポーツまで、プレーヤー、指導者らハンドボール愛好者にお勧めの１冊です。

スポーツイベント・ハンドボール



毎月20日
全国書店にて発売中！

月刊誌 **スポーツイベント ハンドボール**

定 価 **800**円(本体762円)
年間購読 **9,600**円

●書店の店頭にない場合は「スポーツイベント・ハンドボール」(雑誌コード 15433)といえば取り寄せできます。
●毎月20日発売ですが、大会などの関係で年３回ほど発売日が変更になります。
●年間購読は、発送の関係で発売日より３～４日遅れる場合があります。

FLY HIGH!



ハンドボールの革命児
FLY HIGH!
―宮崎大輔 もっと高く―

久保 弘毅 & スポーツイベント特別取材班 著

四六版・224ページ
1,500円
(税込・送料160円別)
発行・(株)スポーツイベント
発売・(株)グローバル教育出版

「もっと高く跳びたい」――。ハンドボールと出会った時から、テレビでも活躍する"スタープレーヤー"となった現在まで、宮崎大輔は、飽きることなく跳び続けている。

"やんちゃ"な子供時代、恩師との出会い、スペインでの２年間、日本代表のエースとして臨んだアテネ五輪予選などなど数多くのエピソードをふんだんに盛り込み、その挑戦の歴史を追った。ファン待望の一冊!

送球ハンズ特販グッズ



送球ハンズＴシャツ
2,650円(送料、税込み)

スポーツイベント・ハンドボール連載中の「送球ハンズ」でご紹介した送球ハンズＴシャツ(アサカ社製＝グリーンのみ)や本場ヨーロッパで愛用されている松ヤニなどをオンラインショップで購入できます。どうぞ気軽にお立ち寄りください。

株式会社スポーツイベント
TEL:03-3253-5941
FAX:03-3253-5948
E-mail:handball@sportsevent.jp
オンラインショップ：http://www.sportsevent.jp

ご注文は、スポーツイベント ハンドボール ONLINE SHOP が便利です

http://www.sportsevent.jp

厚生労働大臣賞

第5回 日本車椅子ハンドボール競技大会



総評

日本車椅子ハンドボール連盟会長
小西 博喜

第1～4回まで兵庫県姫路市で開催された本大会が、本年度は岡山県倉敷市川崎医療福祉大学体育館で開催されるご協力に対し、大学関係各位に深甚の謝意を表する次第である。

大会は宮城フェニックス5連覇なるかの話題が中心であり、対戦チームの健闘が期待されたが、初優勝した近畿福祉大学は昨年の屈辱から見事1点差で勝利した必死の攻防は見応えがあり、新しい歴史を残したのは立派。

さらに、今後の障害者スポーツとしての車椅子ハンドボール競技のあり方を問うという課題を、パラリンピックの現状からどのように方向づけていけばよいのか、その解明も必要である。今回、障害者スポーツとしてのハンドボール競技について2夜連続して連盟役員間で議論した意欲は、画期的な前進であった。そのことがアジア・ヨーロッパエリアに貴重な検討資料として提供されることを期待したい。

最後に、本大会閉会式には（財）日本ハンドボール協会山下泉副会長のご挨拶があり感謝申し上げたい。

戦評

［優勝戦］近畿福祉大　23（12－8，11－14）22　宮城フェニックス

開始30秒、近福正木がサイドシュートで先制。その直後、宮城も下田が力強いシュートを決める。その後も近福若松、松浦らが加点。一方、宮城も斉藤らが得点しクロスゲームの展開となる。しかし、近福は中盤からスピードを生かしたパス回しで徐々に点差を広げ、7点差の余裕をみせた。宮城はシュートミスが続いて苦戦、熊倉、下田の強烈なブラインドシュートで何とか4点差で前半終了。



後半も近福は若松、松浦らが加点したが、宮城の追い上げは激しく、タイムアップ60秒前で同点、近福はさらに30秒前、正木がサイドからDFを振り切り決勝ゴールをあげた。

見事な初優勝を飾り、4年間の忍耐強さが結実した一戦でもあった。（守安幸子）

■得点

近畿福祉大：若松11、正木7、松浦5

宮城フェニックス：下田7、今野・熊倉6、斉藤3

平成19年度 第31回全国高等学校ハンドボール選抜大会

【開催期日】2008年3月25日（火）～30日（日）
【会場】徳島県・徳島市立体育館ほか

出場校一覧

男子

ブロック	出場高校	所属県
北北海道	帯広三条高等学校	北海道
南北海道	札幌月寒高等学校	北海道
東北	県立不来方高等学校	岩手県
	県立羽後高等学校	秋田県
	学法石川高等学校	福島県
	県立湯沢高等学校	秋田県
関東	藤代紫水高等学校	茨城県
	駿台甲府高等学校	山梨県
	市川高等学校	千葉県
	県立富岡高等学校	群馬県
	国学院栃木高等学校	栃木県
	法政第二高等学校	神奈川県
	明星高等学校	東京都
	横浜創学館高等学校	神奈川県
	浦和学院高等学校	埼玉県
北信越	北陸高等学校	福井県
	高岡向陵高等学校	富山県
	県立小松工業高等学校	石川県
	県立氷見高等学校	富山県
東海	愛知高等学校	愛知県
	岐阜市立岐阜商業高等学校	岐阜県
	大同工業大学大同高等学校	愛知県
	高山西高等学校	岐阜県
近畿	此花学院高等学校	大阪府
	県立紀北農芸高等学校	和歌山県
	育英高等学校	兵庫県
	府立洛北高等学校	京都府
	大阪体育大学浪商高等学校	大阪府
中国	県立下松工業高等学校	山口県
	県立境高等学校	鳥取県
	県立岩国工業高等学校	山口県
四国	県立香川中央高等学校	香川県
	県立高松工芸高等学校	香川県
九州	瓊浦高等学校	長崎県
	興南高等学校	沖縄県
	県立大分雄城台高等学校	大分県
	県立小林工業高等学校	宮崎県
	長崎日本大学高等学校	長崎県
	県立那覇西高等学校	沖縄県
開催地	徳島市立高等学校	徳島県

女子

ブロック	出場高校	所属県
北北海道	釧路江南高等学校	北海道
南北海道	札幌丘珠高等学校	北海道
東北	県立不来方高等学校	岩手県
	県立大曲農業高等学校	秋田県
	聖和学園高等学校	宮城県
	県立盛岡第二高等学校	岩手県
関東	文大杉並高等学校	東京都
	県立横浜南陵高等学校	神奈川県
	県立吉井高等学校	群馬県
	県立水海道第二高等学校	茨城県
	県立栃木商業高等学校	栃木県
	昭和学院高等学校	千葉県
	佼成学園高等学校	東京都
	東邦大付属高等学校	千葉県
北信越	高岡向陵高等学校	富山県
	小松市立高等学校	石川県
	県立福井商業高等学校	福井県
	県立氷見高等学校	富山県
東海	名古屋経済大学市邨高等学校	愛知県
	暁高等学校	三重県
	名古屋市立向陽高等学校	愛知県
	県立飛騨高山高等学校	岐阜県
	県立静岡城北高等学校	静岡県
近畿	府立洛北高等学校	京都府
	四天王寺高等学校	大阪府
	県立明石高等学校	兵庫県
	滋賀学園高等学校	滋賀県
	宣真高等学校	大阪府
	夙川学院高等学校	兵庫県
中国	県立玉野光南高等学校	岡山県
	高水高等学校	山口県
	県立徳山高等学校	山口県
四国	県立高松商業高等学校	香川県
	県立香川中央高等学校	香川県
九州	県立那覇西高等学校	沖縄県
	宮崎学園高等学校	宮崎県
	県立大分鶴崎高等学校	大分県
	町立福岡女子商業高等学校	福岡県
	県立浦添高等学校	沖縄県
開催地	県立城北高等学校	徳島県

平成19年度 第3回春の全国中学生ハンドボール選手権大会

期日・内容・会場

- 3月25日（火） 開会式
- 3月26日（水） 男女1回戦：氷見市ふれあいスポーツセンター／富山県立氷見高等学校第一体育館／富山県立有磯高等学校第二体育館
- 3月27日（木） 男女2回戦：氷見市ふれあいスポーツセンター／富山県立氷見高等学校第一体育館／富山県立有磯高等学校第二体育館
- 3月28日（金） 男女3回戦：氷見市ふれあいスポーツセンター、男女準々決勝：富山県立氷見高等学校第一体育館
- 3月29日（土） 男女準決勝・決　勝：氷見市ふれあいスポーツセンター、閉会式

出場チーム一覧表

都道府県名	出場回数	男　子	出場回数	女　子
北海道	2	札幌市立月寒中学校	2	函館市立本通中学校
青森県	初	青森県立三本木高等学校附属中学校		不出場
岩手県	初	矢巾町立矢巾中学校	初	矢巾町立矢巾中学校
宮城県	初	仙台市立高砂中学校	初	仙台市立高砂中学校
秋田県	2	羽後町立羽後中学校	初	湯沢市立湯沢北中学校
山形県	2	尾花沢市立尾花沢中学校	2	東根市立第一中学校
福島県	2	郡山市立第一中学校	2	石川町立石川中学校
茨城県	3	守谷市立けやき台中学校	2	行方市立北浦中学校
栃木県	初	小山市立小山第三中学校	初	栃木市立吹上中学校
群馬県	2	富岡市立富岡南中学校	2	甘楽町立第一中学校
埼玉県	初	三郷市立北中学校	2	三郷市立北中学校
千葉県	2	市川中学校	2	千葉市立花園中学校
東京都	2	東久留米市立西中学校	3	東久留米市立西中学校
神奈川県	初	横浜市立中川西中学校	初	大和市立南林間中学校
山梨県	初	甲州市立松里中学校	2	山梨市立山梨南中学校
新潟県	初	柿崎ハンドボールクラブ	2	柿崎ハンドボールクラブ
長野県	初	千曲市立更埴西中学校	2	茅野市立東部中学校
富山県	3	氷見市立南部中学校	初	氷見市立北部中学校
石川県	2	金沢市立西南部中学校	初	小松市立御幸中学校
福井県	初	福井市明倫中学校	初	福井市光陽中学校
静岡県	2	静岡市立清水第二中学校	2	袋井市立周南中学校
愛知県	初	名古屋市立汐路中学校	初	名古屋市立東陵中学校
三重県	3	鈴鹿市立白子中学校	2	四日市市立朝明中学校
岐阜県	初	ＨＣ岐阜	初	高山市立中山中学校
滋賀県	初	彦根市立鳥居本中学校	初	多賀町立多賀中学校
京都府	2	京田辺市立大住中学校	2	京田辺市立培良中学校
大阪府	初	大阪体育大学附属中学校	2	大阪市立住吉第一中学校
兵庫県	2	高砂市立高砂中学校	初	明石市立大蔵中学校
奈良県	2	生駒市立上中学校	初	生駒市立緑ヶ丘中学校
和歌山県	初	岩出市立岩出第二中学校	初	和歌山市立西和中学校
鳥取県	初	境港市立第一中学校	2	境港市立第二中学校
島根県		不出場		不出場
岡山県	2	倉敷市立東中学校	初	倉敷市立東中学校
広島県	初	呉市立昭和北中学校	3	甲田クラブ
山口県	初	岩国市立通津中学校	初	周南市立住吉中学校
香川県	初	高松市立香東中学校	2	高松市立香川第一中学校
徳島県	3	徳島市城東中学校	3	徳島市城東中学校
愛媛県	初	松山市立椿中学校	3	松山市立雄新中学校
高知県	2	高知市土佐中学校	3	高知市立城北中学校
福岡県	初	私立西南学院中学校	初	大牟田市立船津中学校
佐賀県	3	神埼市立神埼中学校	3	神埼市立神埼中学校
長崎県	初	長崎市立日吉中学校	初	佐世保市立日野中学校
熊本県	3	宇城市立松橋中学校	2	宇城市立松橋中学校
大分県	初	大分市立滝尾中学校	2	大分市立東陽中学校
宮崎県	2	小林市立三松中学校	2	小林市立三松中学校
鹿児島県	初	霧島市立舞鶴中学校	2	霧島市立舞鶴中学校
沖縄県	初	浦添市立仲西中学校	初	浦添市立仲西中学校
開催地	初	氷見市立西條中学校	2	氷見市立十三中学校

第6回ハンドボールコーチング研究会のご案内

（財）日本ハンドボール協会指導委員会研究部会　平岡 秀雄

熊本県山鹿市で第1回のコーチング研究会を始めましたが、早くも第6回を迎えることとなりました。昨年からは村松教授（駒澤大学）の協力を得て、会場を駒澤大学に移しました。本年も昨年と同様、日本リーグ男子プレーオフ（3月15日［土］、16日［日］）に併せて研究会を開催します。昨年の研究会で了解されておりますが、本年は学部生等（参加のみで発表出来ない）にも門戸を広げました。多くの参加を期待します。

この研究会が今後益々発展し、先生方だけでなく多くのコーチを巻き込み、ハンドボールの指導・分析視点や事例を発表して頂き、コーチの資質を切磋琢磨してゆきたいと考えます。

記

1．大会期日

2007年3月15日（土）、16日（日）　9時～11時30分

注）＊3月15､16日午後には、日本リーグプレーオフが開催されます。

2．会場

駒澤大学深沢キャンパス　〒154-8525　世田谷区深沢6-8-18　TEL：03-3418-9111

交通機関　電車：田園都市線「駒沢大学」駅徒歩15分

バス：渋谷駅発「等々力」行、駒沢大学深沢キャンパス前下車

※駒沢キャンパスではありませんのでご注意ください

3．研究会入会・大会申請書の送付先

送付先：hiraoka@tsc.u-tokai.ac.jp

＊日本協会のホームページに「第6回コーチング研究会案内」がありますので、そちらにある申込書ファイルをご利用の上、「添付資料」でメール送信してください。

＊メールでの送信以外は、下記住所宛て送付して下さい。

〒259-1292 神奈川県平塚市北金目1117　東海大学体育学部　平岡秀雄（ハンドボール研究会事務局長）

4．大会参加費用

コーチング研究会大会参加費3,000円を大会当日に徴収します。大会に参加できない方で会員登録を希望する方は、事務局宛、現金書留にて3,000円を送付して下さい。後日、大会抄録・ハンドボール研究を送付いたします。大会参加者には、大会当日に配布いたします。

ご不明な点は下記へお問い合わせください。

（財）日本ハンドボール協会　指導委員会研究部会　舎利弗学（学校法人福島高等学校）
E-mail:manabu@mopera.ne.jp　TEL：090-3147-4978（携帯）

第24回南東アジア大会（24th SEA GAMES）のＴＤ参加所見から
― 2007年12月6日～15日、バンコック市／タイ王国

AHF/MC委員　西山 逸成

Ⅰ．大会概況；

本大会は4年毎に開催されている。大会規模として、南東アジアから16国の参加・43諸競技種目により10日間実施されており、ハンドボール競技種目（男女）は、今回最初の開催であった。次回は4年後にマレーシアで開催時に、ハンドボール競技（男女）の実施が予定されている。

Ⅱ．ハンドボール競技の実施状況；

12月7日～12日の6日間、バンコック市内・国立スタジアムにおいて、参加5ヶ国･8チーム（男4チーム･女4チーム）によるリーグ戦が実施された。

1．参加チーム

男― THAILAND（THA）VIETNAM（VIE）MALAYSIA（MAS）
LAOS（LAO）

女― THAILAND（THA）VIETNAM（VIE）MALAYSIA（MAS）
CAMBODIA（CAM）

2．参加ＴＤ（テクニカル・デレゲート）；

AHF：Mr.Kalaf Al/Enezi（KWE）
Dr.Zainalabedin Banihani（JOR）
Dr.Issei Nishiyama（JPN）
Mr.Zuhir Samha（SYR）
Mr.Yotsapol Sukumolnan（THA）

THA：.Pol.Col.Narasak.Hemnithi（THA）
Mr.ApinanMakarasen（THA）
Mr.Patanachart Kridiborworn（THA）
Mr.Veerasak Wisalaporn（THA）

3．参加レフェリー；（9ペア＝18名）

Neutral Referee：（２ペアー）
Mr.Mikhal Porol / Mr.Yuriy Ossipov（KAZ）
Mr.Mohamad Ziad Mansour / Mr.Kassem Moukachar（LEB）

Host Referee：（２ペアー）
Mr.Chatchai Sangsukeelux / Mr.Kitisak Khlangdit（THA-a）
Mr.Sompong Siripol / Mr.Patpong Pongsakul（THA-b）

Refree（参加国帯同）：（５ペアー）
Thailand（c）, Cambodia, Laos, Malaysia, Vietnam.

4．競技結果；

種別	組合せ・得点	レフリー	ＴＤ	ドーピング検査
女子 Dec. 7	THA 71 ― 1 CAM	LEB	SYR / JPN	
〃 Dec. 7	VIE 62 ― 10 MAS	THA-a	SYR / JPN	
〃 Dec. 9	MAS 7 ― 68 THA	VIE	SYR / JOR	
〃 Dec. 9	VIE 89 ― 12 CAM	THA-b	THA / JPN	
〃 Dec.11	MAS 44 ― 5 CAM	THA-a	SYR / JPN	
〃 Dec.11	THA 25 ― 20 VIE	LEB	SYR / JOR	各チーム１名
男子 Dec. 8	THA 49 ― 9 LAO	VIE	SYR / JOR	
〃 Dec. 8	MAS 11 ― 42 VIE	KAZ	JPN / THA	
〃 Dec.10	MAS 16 ― 45 THA	KAZ	SYR / JPN	
〃 Dec.10	VIE 49 ― 15 LAO	THA-c	JPN / THA	
〃 Dec.11	MAS 32 ― 16 LAO	VIE	JPN / THA	
〃 Dec.11	THA 30 ― 26 VIE	KAZ	SYR / JOR	各チーム１名

＊ドーピング検査は、男・女とも最終試合で各チーム１名のみを実施した。

5．競技順位；

女子：① THA　② VIE　③ MAS　③ CAM

男子：① THA　② VIE　③ MAS　④ LAO

6．大会管理；

1）管理態勢：出入国管理、宿泊管理、役員輸送管理、競技場施設管理は国際水準で国際大会の運営条件に支障なかった。オフィシャル席に於ける記録、計時、TD・レフェリーとの連携等はIHF・AHFと同一要領であった。

2）TDの試合管理：AHF指名のTDのみでの試合管理であり、管理要領もIHF/AHFと同一要領であった。日本で実施されているマッチバイザーによる試合の管理要領とは配置が異なっているので、その管理範囲も若干異なっている。

3）レフェリーの試合担当状況：全12試合中、AHF指名2ペアーが5試合・ホストレフェリー2ペアー（THA）が3試合をそれぞれ担当し、チーム帯同ペアーではTHAペアが1試合、・VIEペアーが3試合をそれぞれ担当し、CAM・LAO・

MAS ペアーは担当なしの状況であった。

4）ドーピングコントロール関係：体育館内に固有のドーピング検査室が常設されており、本大会を契機に WADA&IOC 認可のドーピング検査施設が、タイ国立大学医学部研究室内に常設され、その教室教授が「タイ・アンチドーピング委員会（TADA)」委員長として本大会のドーピング検査を管理していた。

筆者は本試合の担当 DCO 他シャペロン 4 名（医学大学生）と共に、本大会の検査を担当した。

但し、本大会のドーピング検査方法は「抽選方法」「抽選時期」でハンドボール競技･アンチドーピング規則とはかなり異なった方法であったので、IHF ／ AHF 規則による実施を要請し、男女各 1 試合・各チーム 1 名（計 4 名）を実施した。

5）TD 各員へのエスコート：入国･空港到着から出国まで各 TD にそれぞれボランテアの男女学生が配され、競技時の昼食配分・競技場への輸送・関係役員間の連絡調整等の付き添い役を務めていた。最終日には TD グループと感謝の会食を持った。

7．南東アジア地域各国の競技力水準所感；

今回参加の各チームとも学生主体のジュニアーチームであるが、THA・VIE は男女ともヨーロッパ･中国からコーチを招聘し着実な向上努力を感じた。

特に全チームに見られる競技内外でのチーム規律はミリタリー調とも見られた。

Ⅲ．ＴＨＡハンドボール競技（ミニハンドボール）の現況一端；

SEA GAMES 終了翌日、THA ジュニア層の競技力向上の目的で公費国家予算により例年実施の「24 時間継続競技会（24 HOURS NON STOP EXERCISES)」を観戦する機会を得たので紹介する。

1．実施日時；2007 年 12 月 16 日 12：00 ～ 12 月 17 日 12：00。於国立スタジアム体育館。

2．参加選手；年齢 5 歳から 16 歳の男女のジュニア選手が次の年齢区分別― 5 歳～ 12 歳、13 歳～ 14 歳、15 歳～ 16 歳―男・女共に各 12 チーム、計 72 チームであり、各チーム 20 名のエントリーが許されているので 24 時間に亘り、選手の家族等、約 2000 名が体育館を埋めていることになる。

3．この大会の景況はまるでパノラマであり、コート上の試合･スタンドでの仮眠・飲食・休養の支援等を眼前に見て、本大会を見るまでは過酷感を抱いていたが、選手・スタッフ・家族・役員等の表情からは一体感と楽しささえ感じられた。

その背景には、例年参加チームの増加傾向や大会の活性化に加えて、次のように大会成績による表彰金制度が一因ともいえよう。

区分	1位	2位	3位	3位	小計
5～12歳	7.000	5.000	2.000	2.000	16.000
13～14歳	8.000	6.000	3.000	3.000	20.000
14～16歳	8.000	8.000	3.000	3.000	20.000

*単位=バーツ、1バーツ=4.5円
*例5～12歳、1位=約4万円､2位=約3万円、3位=約 15,000 円
*表彰金計=約 30 万円

4．競技場；

公式規則と異なるのは、サイドライン 24 m、ゴールライン 18m でありコート中央 12m に 1m のスローオフラインが設けられている。

したがって、スローオフラインからフリースローラインまでは、3 メートルとなるので、中盤戦はなくもっぱらゴール前の攻撃＆防御の展開の速い試合模様となる。

この規則によって得られる特性を THA 役員は次のように説明していた。

少年・少女に早くからハンドボールの面白さ特に得点ゴールによる快感や醍醐味を覚えさせたい。そしてスキルテクニックを時間をかけてじっくり世界クラスの選手養成を手がけるつもりである。アジアの韓国・日本に追いつけ！追い越せです！

5．競技時間；

競技時間は、12 分－ 5 分－ 12 分であり、タイムアウトは認められていない。

6．レフリー；

15 ペアで運営されており、24 時間継続担任であるのでレフェリー控え室では長椅子が仮眠ベッドとなり、机が簡易キッチン替わりともなり、ハンドボール大会として、この大会の目的は競技力向上を狙っているとは言え、青少年に逞しいバイタリティの植付けとも感じた次第である。

今回の筆者が TD として参加した 24th SEA GAMES から､競技力向上途上国がひたすらハンドボールの追求のために更なる努力を継続したいとの願望を感じた次第である。加えてレフェリー講習会が AHF PRC（Mr Khalaf　AL ENEZI）によって行われており､レフェリー養成へのひた向きさも感じた次第である。





スコアールーム ① 第5回車椅子ハンドボール競技大会

開催期日：2007年12月15日(土)～16日(日)
会　場：岡山県・倉敷市川崎医療福祉大学体育館

▼予選リーグ Aブロック

宮城フェニックス（宮　城） 33－11 ＤＸ伏見（京　都）
宮城フェニックス（宮　城） 39－3 小西ファイターズ（岡　山）
ＤＸ伏見（京　都） 26－3 小西ファイターズ（岡　山）

▼予選リーグ Bブロック

近畿福祉大学（兵　庫） 43－6 岡山ＰＴＡ（岡　山）
近畿福祉大学（兵　庫） 27－10 大阪体育大学（大　阪）
大阪体育大学（大　阪） 20－14 岡山ＰＴＡ（岡　山）

▼予選リーグ Cブロック

ドリーマーズ（京　都） 32－7 パッチワークとくしま（徳　島）
ドリーマーズ（京　都） 32－19 川崎医療福祉大学（岡　山）
川崎医療福祉大学（岡　山） 13－11 パッチワークとくしま（徳　島）

▼決勝トーナメント 1回戦

ドリーマーズ 24－11 大阪体育大学
川崎医療福祉大学 22－21 ＤＸ伏見

▼準決勝

宮城フェニックス 24－20 ドリーマーズ
近畿福祉大学 42－13 川崎医療福祉大学

▼3位決定戦

ドリーマーズ 37－15 川崎医療福祉大学

▼決　勝

近畿福祉大学 23－22 宮城フェニックス

スコアールーム ② 第16回JOCジュニアオリンピックカップ

開催期日：2007年12月25日(火)～28日(金)
会　場：大阪府・堺市家原大池体育館、金岡公園体育館、原池公園体育館

【男　子】

▼予選リーグA組

熊本県 23（15－9、8－12）21 埼玉県
兵庫県 30（14－12、16－14）26 埼玉県
熊本県 34（19－11、16－13）24 兵庫県

▼予選リーグB組

愛知県 31（15－16、16－11）27 香川県
香川県 35（17－8、18－18）26 宮城県
愛知県 40（21－9、19－7）16 宮城県

▼予選リーグC組

長崎県 30（13－11、17－9）20 茨城県
長崎県 27（12－10、15－11）21 福井県
茨城県 34（20－9、14－14）23 福井県

▼予選リーグD組

宮崎県 29（14－11、15－12）23 京都府
京都府 27（14－9、13－17）26 岡山県
宮崎県 30（14－10、16－11）21 岡山県

▼予選リーグE組

山口県 26（14－11、12－14）25 大分県
山口県 34（17－15、17－12）27 東京都
東京都 29（14－12、15－16）28 大分県

▼予選リーグF組

福島県 47（22－6、25－9）15 北海道
福島県 22（8－5、14－13）18 大阪府
大阪府 32（17－11、15－10）21 北海道

▼予選リーグG組

岩手県 36（19－15、17－15）30 三重県
沖縄県 29（14－13、15－15）28 岩手県
沖縄県 31（16－13、15－16）29 三重県

▼予選リーグH組

神奈川県 28（17－14、11－11）25 富山県
富山県 32（15－13、17－6）19 奈良県
神奈川県 25（7－10、18－12）22 奈良県

▼準々決勝

愛知県 26（15－14、11－9）23 熊本県
宮崎県 33（15－13、18－12）25 長崎県
山口県 25（12－8、13－11）19 福島県
沖縄県 19（10－8、9－10）18 神奈川県

▼準決勝

宮崎県 34（16－16、18－14）30 愛知県
山口県 31（15－10、16－11）21 沖縄県

▼決　勝

山口県 35（12－17、23－13）30 宮崎県

【女　子】

▼予選リーグa組

東京都 31（16－5、15－10）15 大分県
東京都 31（15－11、16－10）21 石川県
大分県 22（10－11、12－11）22 石川県

▼予選リーグb組

香川県 35（18－4、17－6）10 北海道
兵庫県 30（16－5、14－6）11 北海道
香川県 22（11－6、11－6）12 兵庫県

▼予選リーグc組

山口県 20（6－11、14－9）20 群馬県
山口県 33（14－8、19－7）15 岐阜県
群馬県 34（17－6、17－6）12 岐阜県

▼予選リーグd組

熊本県 29（15－8、14－8）16 福島県
大阪府 22（10－9、12－10）19 福島県
熊本県 25（9－8、16－9）17 大阪府

▼予選リーグe組

愛知県 16（11－3、5－3）6 栃木県
愛知県 26（14－7、12－6）13 奈良県
奈良県 21（13－9、8－7）16 栃木県

▼予選リーグf組

福井県 32（14－9、18－7）16 佐賀県
福井県 29（16－3、13－7）10 岡山県
佐賀県 21（8－9、13－10）19 岡山県

▼予選リーグg組

埼玉県 23（9－8、14－11）19 沖縄県
沖縄県 25（11－8、14－6）14 愛媛県
埼玉県 35（18－10、17－7）17 愛媛県

▼予選リーグh組

京都府 25（15－7、10－9）16 広島県
京都府 31（14－3、17－5）8 秋田県
秋田県 26（17－5、9－15）20 広島県

▼準々決勝

東京都 37（17－8、20－6）14 香川県
熊本県 25（12－11、13－8）19 群馬県
福井県 17（7－6、10－4）10 愛知県
京都府 24（12－11、12－11）22 埼玉県

▼準決勝

東京都 32（18－14、14－13）27 熊本県
福井県 20（7－9、13－6）15 京都府

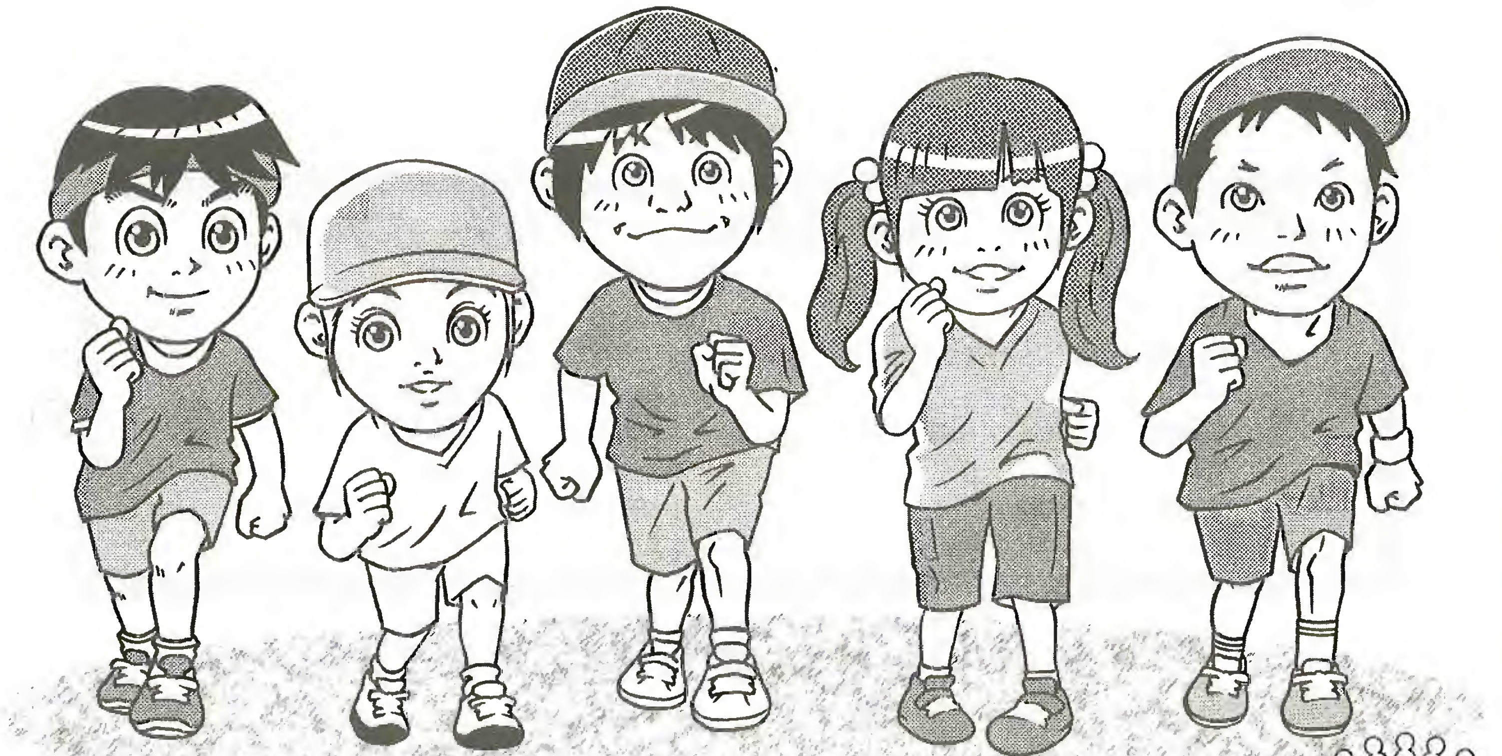
▼決　勝

福井県 31（14－13、17－11）24 東京都

1000万人のガンバリサポート!!

スポーツ安全保険

傷害保険　賠償責任保険　共済見舞金





5名以上の団体でご加入ください

対象となる事故　団体活動中の事故／往復中の事故

保険期間　平成20年4月1日午前0時より翌年3月31日午後12時まで（申込受付は平成20年3月から）

加入区分・掛金・補償金額

団体	加入区分		掛金※（年額）	対象範囲	保険金額：傷害保険：死亡	保険金額：傷害保険：後遺障害（最高）	保険金額：傷害保険：入院（1日につき）実治療日数4日以上	保険金額：傷害保険：通院（1日につき）実治療日数4日以上	保険金額：賠償責任保険（てん補限度額）	共済見舞金
子どもの団体	A	中学生以下の子ども スポーツ活動を行わない大人（高校生以上）	500円	団体活動中とその往復中（学校管理下を除く。）	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体賠償 1人 1億円 1事故 5億円 財物賠償 1事故500万円（各免責金額1,000円）	突然死（急性心不全 脳内出血など）160万円
子どもの団体	AW（中学生以下の方がご加入できます。）	中学生以下の子ども	1,050円	団体活動中とその往復中（学校管理下を除く。）	2,100万円	3,150万円	5,000円	2,000円	上記補償に身体・財物賠償合算 1事故500万円を加算	突然死（急性心不全 脳内出血など）160万円
子どもの団体	AW	中学生以下の子ども	1,050円	上記以外（学校管理下を除く。）	100万円	150万円	1,000円	500円	身体賠償、財物賠償合算 1事故500万円（免責金額1,000円）	対象となりません
子どもの団体	AC	A,AWの子ども（中学生以下）の指導・支援として一緒にスポーツ活動を行う大人（高校生以上）	1,000円	団体活動中とその往復中（学校管理下を除く。）	1,000万円	1,500万円	2,500円	1,000円	身体賠償 1人 1億円 1事故 5億円 財物賠償 1事故500万円（各免責金額1,000円）	突然死（急性心不全 脳内出血など）160万円
子どもの団体	C	A,AWの子ども（中学生以下）の指導・支援として一緒にスポーツ活動を行う大人（高校生以上）	1,500円		2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		
大人の団体	A	高校生以上の文化活動団体	500円		2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		
大人の団体	B	老人クラブなどの団体（団体員がおおむね（3分の2以上）60歳以上）	800円		600万円	900万円	1,800円	1,000円		
大人の団体	C	高校生以上のスポーツ活動団体	1,500円		2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		
大人の団体	D	危険度の高いスポーツ活動団体	9,000円		500万円	750万円	1,800円	1,000円		

※「子ども」とは中学生以下及び特別支援学校の児童、生徒及び幼児を、「大人」とは、高校生以上の生徒、学生、社会人などをいいます。
※同一団体で1口しか加入できません。**中途加入する場合、中途脱退する場合も年間掛金を適用します。加入後の加入者の入換え、加入区分の変更はできません。**
※掛金には（財）スポーツ安全協会で運営する「共済見舞金制度」の掛金、1人20円が含まれています。

平成20年度よりインターネットからの加入受付を開始しております。詳しくは、ホームページをご覧ください。

財団法人 スポーツ安全協会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目12番1号　03-5510-0022

保険の詳しい内容、資料の請求は、ホームページをご覧ください。

http://www.sportsanzen.org

●資料請求は、インターネットより受付けております。

〈共同保険会社〉
あいおい損害　共栄火災　損保ジャパン　大同火災　東京海上日動
日新火災　ニッセイ同和損害　日本興亜損害　富士火災　三井住友海上
保険については東京海上日動を幹事会社として、上記損害保険会社10社との共同保険となっております。
（平成20年4月予定）

がんばれハンドボール10万人会「サポート会員」1月入会・継続会員

【岩手】多田　和生　【茨城】岡本　大　【千葉】大森　優美　【東京】西岡　雅樹、飯田　信行、大場　信吾、山田　由美、八木　亮、伊東　卓　【神奈川】夏山　真也　【長野】服部　博幸　【愛知】小柳　雄揮【京都】石井　惇史　【大阪】長嶺　利昭　【奈良】木村　和正、木村　加代、木村　雅俊　【鳥取】萬　隆志【岡山】小林　裕子

【3月の行事予定】

【会議】……………………………………………………………

3月8日(土)　理事会(東京・NTC)

【大会】……………………………………………………………

3月15日(土)～16日(日)

第32回日本リーグプレーオフ(男子)(東京・駒沢体育館)

3月23日(日)～26日(水)

第3回春の全国中学生選手権大会（富山県・氷見市）

3月25日(火)～30日(日)

第31回全国高校選抜大会（徳島県・徳島市）

ANA CUP　第32回日本リーグプレーオフ(男子)

【日程】3月15日（土）

14時～

準決勝第1試合(リーグ通算1位対4位)

16時～

準決勝第2試合(リーグ通算2位対3位)

3月16日（日）14時～

決　勝（準決勝の勝者）

【会場】東京・駒沢体育館

【チケット】

アリーナ	2,800円
一般・大学生	2,000円
中・高校生	1,000円
小学生以下	500円

※前売り券は、チケットぴあにて販売。

※プレーオフ詳細情報は日本リーグＨＰをご参照ください。http://www.jhl.handball.jp/

HAND BALL CONTENTS Mar.

（登録チームの購読料は登録料に含む）



(財)日本ハンドボール協会編『ハンドボール』第四八八号

昭和四十年六月七日 第三種郵便物認可

平成二十年二月二十六日印刷 平成二十年三月一日発行

東京都渋谷区神南一ー一ー一 電話 代表〇三ー三四八一ー二三六一 振替 〇〇一二〇ー七ー一〇二九三

編集兼発行人 川上憲太

定価 年間三三〇〇円